

## 目次

最新情報.....	1
新機能.....	1
V1.50の追加.....	2
V1.40の追加.....	3
V1.30の追加.....	3
V1.20の追加.....	3
V1.10の追加.....	3
メンテナンス項目.....	4
V1.40の修正.....	4
V1.12の修正.....	4
V1.11の修正.....	4
V1.10の修正.....	4
ファームウェアバージョンの確認.....	4
ファームウェアアップデート手順.....	5
Boot Loaderファームウェアアップデート手順.....	7

## 最新情報

本機のファームウェアは、常に最新版をお使いいただけますようお願いいたします。最新のファームウェアに関しては、TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) にてご確認ください。

## 新機能

## V1.50の追加

- DA-6400用としてMACHINE SELに“9 : DA-6400”モードを追加しました。  
本機からDA-6400をリモートコントロールするには、DA-6400本体のRS-232C対応が必要となります。(日本のみの対応)  
詳しくは、タスカム カスタマーサポートまでお問い合わせください。

ボタン	内容
TIME SETボタン	本機のディスプレイの表示を時間入力表示に切り換えます。 数字ボタン (0~9ボタン) で、指定する時間を入力します。 ENTERボタンを押すと、指定した時間に移動します。 経過時間 (ABS時間) 表示中は、音声ファイル先頭からの経過時間 (ABS時間) を入力します。
SHIFT + TIME SETボタン	本機のディスプレイの表示をテイク番号入力表示に切り換えます。 数字ボタン (0~9ボタン) で、指定するテイク番号を入力します。 ENTERボタンを押すと、指定したテイク番号に移動します。
F1ボタン	1つ手前のマークポイントに移動します。
F2ボタン	1つ先のマークポイントに移動します。
F3ボタン	録音・再生中の音声ファイル先頭からの経過時間 (ABS時間) を表示します。 経過時間 (ABS時間) 表示中は、インジケーターが点灯します。
F4ボタン	DA-6400のディスプレイの表示を“MARK INFO”画面に切り換えます。 ESC/CLR [MACHINE SEL] ボタンを押すと、DA-6400の“MARK INFO”画面を終了します。 DA-6400が“MARK INFO”画面を表示中に数字ボタンの8ボタンを押すと、“MARK INFO”画面のカーソルが1つ上に移動し、数字ボタンの2ボタンを押すとカーソルが1つ下に移動します。 ENTERボタンを押すと、選択されたマークポイントに移動します。
SHIFT + F1ボタン	先頭のマークポイントに移動します。
SHIFT + F2ボタン	最後のマークポイントに移動します。
SHIFT + F3ボタン	シアタープレイ機能の開始位置マーク (\$STANDBY) を登録します。
SHIFT + F4ボタン	シアタープレイ機能の終了位置マーク (\$END) を登録します。

ボタン	内容
SHIFT + MARK/CUE SETボタン	本機のディスプレイ表示をマーク番号入力表示に切り換えます。 数字ボタン（0～9ボタン）で、指定するマーク番号を入力します。 ENTERボタンを押すと、指定した番号のマークに移動します。 (マーク番号は、マークリストの先頭を1とした連番です)
ESC/CLR [MACHINE SEL] + SHIFT + MARK/CUE SETボタン	本機のディスプレイの表示をカレントマーク名表示に切り換えます。 ENTERボタンを押すと、表示されているマークポイントを削除します。 ESC/CLR [MACHINE SEL] ボタンを押すと、カレントマーク名表示を終了します。
CALL [CHASE] ボタン	DA-6400のCALL機能を実行します。
TRACK ◀◀ + STOP [RETAKE] ボタン	RTZ (先頭テイクまたは先頭エントリーの再生開始位置に移動)
F5ボタン	REC

**メモ**

詳しくは、DA+6400の追補リリースノート「新機能」の「V3.00の追加」を参照ください。

**V1.40の追加**

- HS-4000用としてMACHINE SELに“8 : HS [C](TmLine)”モードを追加しました。このモードは、HS-4000 V3.00のタイムラインモードに対応します。

**“8 : HS [C](TmLine)”モードの仕様**

ボタン	内容
F1ボタン	タイムラインモードにおいて、IN点を設定します。 設定時にインジケータが点灯します。
F2ボタン	タイムラインモードにおいて、OUT点を設定します。 設定時にインジケータが点灯します。
CLR + F1ボタン または CLR + F2ボタン	タイムラインモードにおいて、IN / OUT点ともに削除します。 削除時にF1 / F2インジケータが消灯します。
SHIFT + F1 ボタン	タイムラインモードにおいて、IN点に移動します。
SHIFT + F2 ボタン	タイムラインモードにおいて、OUT点に移動します。
F3ボタン	タイムラインモードにおいて、IN / OUT間再生 (IN点から再生を開始し、OUT点で再生を停止) を行います。
F4ボタン	タイムラインモードにおいて、現在時刻を示すカーソル位置をJOGダイヤルを使用して左右に移動できる機能のON / OFFを切り換えます。 ON時にインジケータが点灯します。
F5ボタン	REC
数字ボタン	タイムラインモードにおいて、タイムサーチ機能時 (TIME SETボタン押下時) 以外は、以下のように機能します。 4 / 6 (s / w) : Time Zoom (- / +) 8 / 2 (2 / x) : Level Zoom (- / +) <b>注意</b> HS-4000 WAVEFORM VIEW機能 (有償オプション) を有効にすることでご利用いただけます。
SEARCH ◀◀ / ▶▶ ボタン	キューサーチのスピードがx2.0です。

その他の仕様は、MACHINE SEL で“3 : HS [A](REC)”を選択した場合と同じです。

- HS用モード (MACHINE SELで“3 : HS [A](REC)” / “4 : HS [B](ONLINE)” / “8 : HS [C](TmLine)”) において、HS-4000 V3.00にて追加された◀◀ / ▶▶キー単独でマークスキップ操作ができるようにする“MARK SKIP MODE”設定に対応しました。

**メモ**

詳しくは、HS-4000のリリースノート「新機能」の「V3.00の追加」を参照ください。

## V1.30の追加

- SS-CDR250N / SS-R250N用としてMACHINE SELに“7 : SS-CDR/R250N”モードを追加しました。

### ご使用するにあたっての確認事項

(RC-900側)

- 取扱説明書の「接続機器を選択する」の操作手順を参照の上、新たに追加された“7 : SS-CDR/R250N”を選択してください。

(SS-CDR250N / SS-R250N側)

- システムファームウェアが Ver1.01以上であることを確認してください (SS-CDR250N / SS-R250Nの取扱説明書の「ファームウェアバージョンを確認」を参照してください)。Ver1.00の場合は、Ver1.01以上にアップデートしてください (SS-CDR250N / SS-R250Nの取扱説明書の「ファームウェアアップデート手順」を参照してください)。
- 通信設定をBAUD RATE 38400 bps、PARITY BIT NON、STOP BIT 1、DATA LENGTH 8に設定してください。(SS-CDR250N / SS-R250Nの取扱説明書の「リモコン端子を使う」[RS-232C端子を使う]を参照してください。)

## “7 : SS-CDR/R250N”モードの仕様

- ディスプレーのトラック時間表示は、時：分：秒。10msec単位時間に表示します。ただし、使用メディアがオーディオCDのときは、分：秒。10msec単位時間に表示します。
- 各種操作は、以下の項目を除きSS-CDR200 / SS-R200を接続して“5 : SS-CDR200/R200”を選択した場合と同じです。取扱説明書の該当する箇所を参照してください。
- SS-CDR250N / SS-R250Nにおいて追加されたマーク機能に対応します。操作方法は、取扱説明書の「マーク機能」を参照ください。
- SS-CDR250N / SS-R250Nにおいて追加されたダイレクト録音機能に対応します。ダイレクト録音機能がオンの場合は、停止状態でF5ボタンを押すと、録音待機状態を経ずに録音を開始します。
- F3ボタンにアサインされているDIVIDE機能の操作方法は、取扱説明書の「トラック (テイク) を分割する」のHS-2 / HS-2000 / HS-4000の場合を参照ください。

## V1.20の追加

- CD-9010CF / CD-9010のV1.20に追加されたフェールセーフ機能の“MID LIM”設定に対応しました。

### メモ

詳しくは、CD-9010CF / CD-9010 / RC-9010 / RC-9010S リリースノート「新機能」[V1.20の追加]を参照ください。

## V1.10の追加

- CD-9010CF / CD-9010用としてMACHINE SELに“6 : CD-9010 [B]”モードを追加しました。F5ボタンでオンライン再生の操作、PLAYボタンでモニター再生の操作が可能になります。
- CD-9010CF / CD-9010で使用時に、SHIFT + ▶▶ボタン操作でEND CHECK機能が動作するようになりました。
- CD-9010CF / CD-9010のフェールセーフ機能 (誤って操作ボタンに触れたときに動作をしないための安全機能)に対応しました。
- CD-9010CF / CD-9010 / CD-6010使用時に、トレーオープン状態からのディスクローディングが 数字ボタンによるトラック選択操作でも行えるようになりました。

### メモ

詳しくは、RC-900取扱説明書のRevC (D01176601C)を参照ください。

## メンテナンス項目

### V1.40の修正

- HS用モード（MACHINE SELで“3 : HS [A](REC)” / “4 : HS [B](ONLINE)” / “8 : HS [C](TmLine)”）において、Jog再生による頭出し動作を改善しました。
- 動作の安定性を向上させました。

### V1.12の修正

- CD-9010CF / CD-9010のV1.12に対応しました。

### V1.11の修正

- CD-9010CF / CD-9010のフェールセーフ機能（誤って操作ボタンに触れたときに動作をしないための安全機能）を“UP LIM”設定で使用した場合、以下の不具合が発生する場合がありますため修正しました。
  - TRACK ◀◀ / ▶▶ ボタン操作を行った後にディスプレイのトラック時間表示が更新されない。
  - TRACK ◀◀ / ▶▶ ボタン操作の約10秒後に再生待機状態（STANDBY）から停止（STOP）に移行してしまう。
- 動作の安定性を向上させました。

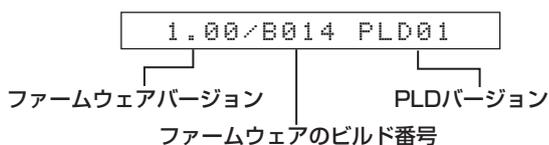
### V1.10の修正

- CD-6010で使用時に、ディスクのローディングをPLAYボタン、PAUSEボタン、TRACK ◀◀ / ▶▶ ボタン操作で行った場合、その後のJOG操作ができない不具合を修正しました。
- CD-9010CF / CD-9010で使用時に、キューポイントが登録されない不具合を修正しました。
- 動作の安定性を向上させました。

## ファームウェアバージョンの確認

ファームウェアアップデート作業前に、お手持ちのRC-900のファームウェアバージョンを確認します。

1. STOPボタン / PLAYボタン / PAUSEボタンを押したまま、リアパネルのSTANDBY/ONスイッチを「ON」にします。
2. ディスプレーにオープニング画面を表示後、ファームウェア情報が以下のように表示されます。



ここで表示されるファームウェアバージョンおよびビルド番号を確認してください。

ここで表示されるバージョンが、これからアップデートしようとしているバージョンと同じ、または新しい場合はアップデートの必要はありません。

3. ファームウェアバージョン情報を確認したら、リアパネルのSTANDBY/ONスイッチをオフ（「ON」の反対側）にします。

## ファームウェアアップデート手順

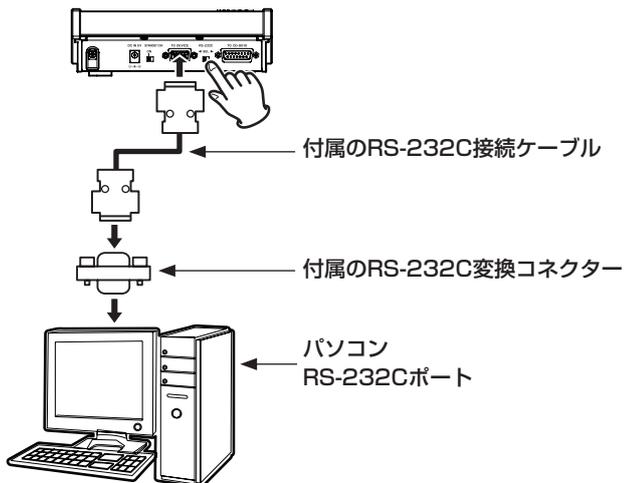
### メモ

本機のファームウェアは、Boot Loaderファームウェアと本体ファームウェアの2つのファームウェアで構成されています。特にBoot Loaderファームウェアは、アップデートの制御を行う部分です。

現在お使いのファームウェアバージョンが「1.00」の場合、手順11.においてBoot Loaderファームウェアが古い旨のポップアップが表示される場合があります。

この場合は、本体ファームウェアをアップデートする前にBoot Loaderファームウェアをアップデートする必要があります。

1. TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) より最新のファームウェアをダウンロードします。ダウンロードを行ったファイルがZIP形式等の圧縮ファイルの場合は解凍してください。
2. 付属のRS-232C接続ケーブルの片側に付属のRS-232C変換コネクタを接続し、RS-232C変換コネクタをパソコンのRS-232Cポートに接続します。
3. 本機の電源が入っていないことを確認し、RS-232C接続ケーブルの反対側プラグを本機背面のTO DEVICE端子に接続し、リアパネルのRS-232C SELスイッチを「◀」側に切り換えます。



### メモ

RS-232Cポートが無いパソコンを使ってアップデート作業を行う場合は、市販の「USB - RS-232C変換ケーブル」をお使いください。

4. 本機のF5ボタンとSTOPボタンを押しながらリアパネルのSTANDBY/ONスイッチを「ON」にし、ファームウェアアップデートモードで本機を起動します。ファームウェアアップデートモード起動時には、ディスプレイに以下のように表示されます。

F/W UPDATE MODE

### 注意

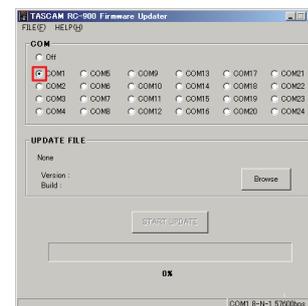
本機のディスプレイに“F/W UPDATE MODE”が表示されないときは、本機の電源をオフにしてください。もう一度、ファームウェアアップデートの手順4.の操作を行ってください。なお、F5ボタンとSTOPボタンは、本機のディスプレイに“F/W UPDATE MODE”が表示されるまでしっかりと押し続けてください。

5. 下図の《TASCAM RC-900 Firmware Updater》(Windows PCアプリケーションソフト\*1) のアイコンをダブルクリックしてソフトウェアを起動します。

\*1：《TASCAM RC-900 Firmware Updater》ソフトウェアは、TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) よりダウンロードを行ってください。



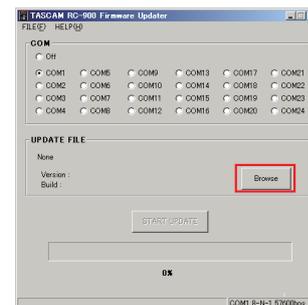
6. 接続したパソコンのRS-232Cポートの番号を、起動したアプリケーションソフトの《COM》グループ内から設定します。



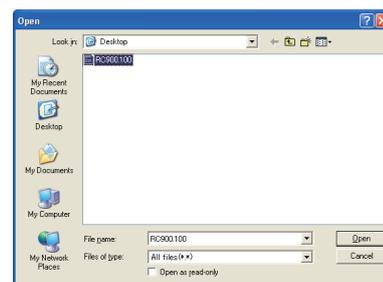
### メモ

ほとんどの場合、パソコンに付属しているRS-232Cポートの初期設定は、《COM1》または《COM2》に設定されています。市販のUSB - RS-232C変換ケーブルを使用して接続すると、それ以降のCOM番号になる場合があります。

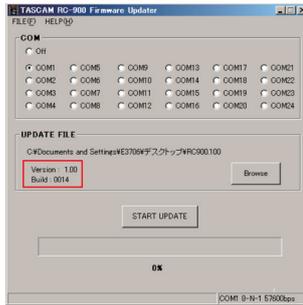
7. 《UPDATE FILE》項目内の《Browse》ボタンをクリックし、ファイル選択画面を表示します。



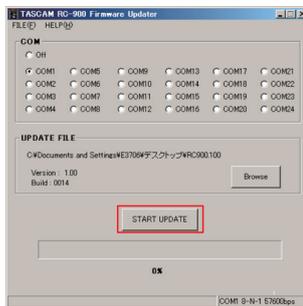
8. ファイル選択画面からアップデートファイルをダウンロードした場所を選択します。



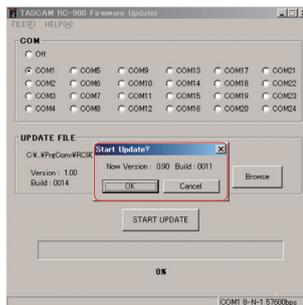
9. アプリケーションソフトの《UPDATE FILE》項目内に選択したアップデートファイルの《Version》および《Build》番号が表示されます。



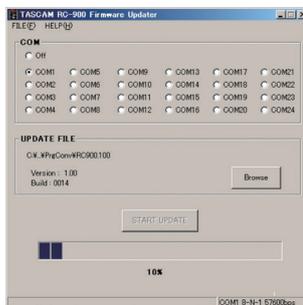
10. 《START UPDATE》ボタンをクリックすると、本機に書き込まれている現在のファームウェアバージョンおよびビルド番号がポップアップ表示されます。



11. ポップアップ表示内の《OK》ボタンをクリックし、アップデートを開始します。

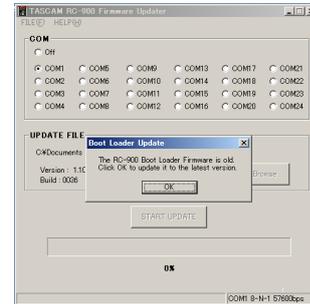


アップデート中は、進行状況を表示します。



## メモ

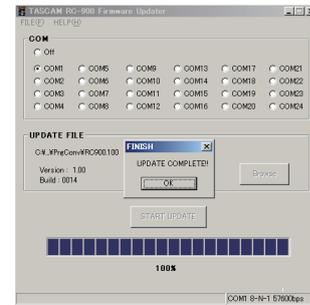
以下のポップアップメッセージが表示された場合は、Boot Loaderファームウェアが古いためアップデートが必要です。「Boot Loaderファームウェアアップデート手順」に進んでください。



12. アップデートが終了すると、本機とパソコンのディスプレイに以下のように表示されます。

UPDATE Complete

[RC-900のディスプレイ表示]



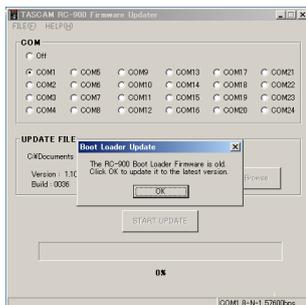
[パソコンのアプリケーションソフトの表示]

13. リアパネルのSTANDBY/ONスイッチをオフ（「ON」の反対側）にします。  
パソコン側は、ポップアップメッセージ内の《OK》ボタンをクリックします。
14. 「ファームウェアバージョンの確認」を参照して、ファームウェアバージョンが最新のファームウェアとなっていることを確認してください。  
以上で本機のアップデート作業は終了です。

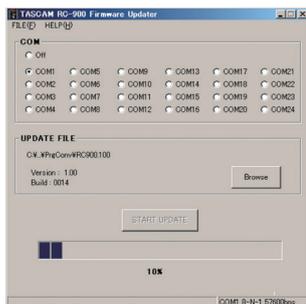
## Boot Loaderファームウェアアップデート手順

本体ファームウェアのアップデート中にBoot Loaderファームウェアが古い旨のポップアップメッセージが表示された場合、以下の手順でBoot Loaderファームウェアのアップデートを行ってください。

1. 本機のファームウェアアップデートの際に以下のポップアップメッセージが表示された場合は、ポップアップメッセージ内の《OK》ボタンをクリックし、Boot Loaderファームウェアのアップデートを開始します。



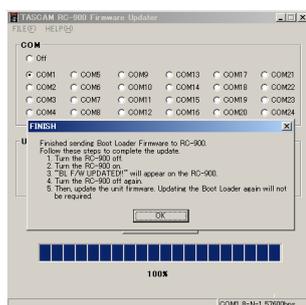
2. 本体ファームウェア領域に、Boot Loader更新用のファームウェアが送り込まれます。アップデート中は、進行状況を表示します。



3. アップデートが終了すると、本機とパソコンのディスプレイに以下のように表示されます。

UPDATE Complete

[RC-900のディスプレイ表示]



[パソコンのアプリケーションソフトの表示]

4. リアパネルのSTANDBY/ONスイッチをオフ（「ON」の反対側）にします。パソコン側は、ポップアップメッセージ内の《OK》ボタンをクリックして完了します。
5. 本機の本体ファーム領域に書き込まれたBoot Loader更新用のファームウェアを起動するため、リアパネルのSTANDBY/ONスイッチを「ON」にします。本機の起動後、更新が完了するとディスプレイに以下のように表示されます。

BL F/W UPDATE!!

### 注意

本機のディスプレイに表示されるまで約2秒かかります。途中で電源を切ると、再起動できなくなる可能性があります。

6. リアパネルのSTANDBY/ONスイッチをオフ（「ON」の反対側）にします。以上でBoot Loaderファームウェアのアップデートは完了ですが、まだ本体ファームウェアのアップデートが完了していません。もう一度「ファームウェアアップデート手順」にて本体ファームウェアのアップデートを行ってください。その際、Boot Loaderファームウェアの更新はすでに完了していますので、手順11.においてBoot Loaderファームウェアが古い旨のポップアップが表示されることはありません。

### メモ

Boot Loader更新用のファームウェアは、通常動作ができません。よって、本体ファームウェアのアップデートが必要です。